

永野小学校・学校だより(5月)

子どもたちのための学校づくりを

校長 志賀 光雄

4月24日、学校説明会を行いました。この会は、その年度の永野小学校の基本的な方針を保護者の皆様に説明し、ご感想・ご意見を伺う会です。当日は150名ほどの方々にお集まりいただき、わたしの方から説明いたしました。

内容は大きく分けて二つです。一つは平成18年度の永野小学校の方針、もう一つは、平成17年度実施の「学校アンケート」結果の報告と、寄せられた意見に対して、学校としての考え方の説明です。この二つのことについて簡単に紹介します。

まず、今年度の方針ですが、今年度も昨年に引き続き、「子ども・保護者・地域から信頼される学校」となることを目指します。そのためにまず、教師相互の研修や研究を通して「よりよい授業」の実践のため努力すること、また、「よりよい学級づくり」を通して、子どもたち自身にゆたかな人間関係づくりの力がつくよう努力すること、そして、「不審者」対策を充実させ、「安心でよりよい学校づくり」ができるよう努力すること、ということの説明いたしました。

また、アンケートに寄せられた意見につきましていくつかのことについて学校としての考え方を説明いたしました。

まず、授業参観や懇談会についてです。回数や実施の曜日などについてのご要望がありました。基本的には、保護者が授業を参観されたい場合はご連絡をいただければいつでもご参観いただくことができます。ただ、お一人ではご参観しにくいことも考えられますし、懇談会に合わせて授業参観日を設定していることもあり、年間の回数なども決まってきます。またできるだけ多くの方に参観いただける機会を作ろうと行事等の工夫も行っております。どうぞご理解いただきまして、ご協力をよろしくお願いいたします。

次に、「あゆみ」についてです。アンケート結果では、現在の「あゆみ」を工夫し、子どもたちの学習や学校生活の様子がもっとよくわかる形にして欲しいというご意見が比較的多く寄せられました。本校のあゆみは、今の形式になってから3年目になります。この間、様々な教育改革が進められてきていますので、実態に合ったあゆみはどうあったらよいか、学校としても研究を始めたところですが、今後、少しでもよりよいあゆみの作成に向けて努力してまいります。

また、授業時数についてです。「学校外での活動が多いように感じますが、教科の授業時数は確保されているのでしょうか」という内容の質問がありました。国語や算数など、教科の時間数や総合的な学習の時間数などは決められた時間数をきちんと確保できるよう、学校の教育課程や年間指導計画に基づき、毎週の指導計画で点検をしながら進めてきています。今後も授業時数の確保に努めるとともに、授業そのものの充実に向け努力してまいります。

5月、様々な生き物が躍動的に感じられる季節、4月中に早くもマーチングの練習が始まるなど、本校の子どもたちの活動も勢いを増してきています。連休明けからは特別陸上クラブ、合唱クラブの活動が始まります。

「なかよく かがやき のびゆく」永野の子どもたち、今年も夢に向かって大きくジャンプです。

学校の方針、またアンケート結果に基づく学校改善は、全て子どもたちの輝く姿を念頭に置いてのものです。子どもたちのジャンプが少しでも高く、また力強いものになるよう、今後とも様々な機会に皆様から多くのご意見をいただきながら学校づくりと子どもたちの教育を充実させる取組を進めてまいります。